

第6回（最終回）竹野地域 デザイン懇談会を開催しました

竹野地域の最終回となる「第6回竹野地域デザイン懇談会」を、12月19日（日）竹野南地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

まず、第5回（11月20日開催）において、参加者の皆さまに延床面積削減という目標を達成するための具体的な方法を検討していただきましたので、その結果について振り返りを行いました。

最終回となる今回は、第1回から第5回の懇談会で出し合っていた意見・アイデアについて各グループで最終確認とまとめを行い、さらなるアイデアはあるか、また、意見の出ていなかった施設についてはどうかなど議論していただきました。最後に各グループワークでのまとめについて発表し、全体で共有しました。

懇談会の様子



竹野地域の「地域デザイン懇談会」は今回で終了となりました。参加者の皆さまには、貴重なご意見やアイデアを多数いただきました。誠にありがとうございました。

市民の皆さまに、懇談会での成果を報告する会を3月に開催する予定です。詳細は決まり次第お知らせします。



参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

グループ A

- 学校の跡地をプール、体育館、柔道・剣道場があるスポーツ施設とし、地域の避難所、集会所の機能も持たせる
- 子育てセンターは、地域に必要であるため、グラウンドのある学校跡地や、近隣施設の空き部屋に移転させることを検討する

グループ B

- 健康福祉センターは、保健・福祉の機能を残しつつ、空きスペースに子育て支援施設の機能を移転⇒福祉と子育て機能を中心とした複合化を図る
- 観光センターは、他施設に機能移転することで、機能の向上と管理の一元化を図り、施設の多様化を進める
- B & G海洋センターは機能を分散又は、現状施設を民間に任せる

グループ C

- 新たな観光機能を強化し、利用価値を高める
- 北前館は、観光機能を集約し、観光の中心とする賑わいを作るため、公共と民間の共存についても検討していく
- 学校跡地は、民間利用やリース契約など立地に合わせた利活用、地区の避難所として利用できる協定などを検討していく

グループ D

- 観光センターは、北前館に機能を移転することを検討
- B & G海洋センターは、現状と同じ機能を他施設で代用することは難しいが、近隣の体育館など代用可能なものは利用する
- たけのこ村は、民間で管理運営・活用できないか検討する

❖全懇談会を通してのご意見・ご感想❖

- ・同じメンバーだと、毎回同じような意見になってしまうと思った。
- ・34%削減に向けて話し合いに参加し、公共施設の今後のあり方を真剣に考える機会を与えられ、大変勉強になった。より良い方向へと願っている。
- ・同じ町内でも地区によって生活圏が違うので、他地域の施設利用状況や施設に対する感覚、重要性などが知れて良かった。利用する住民の思いと将来的な施設の寿命などを踏まえ進めてほしい。
- ・公共施設に携わっている人と、外から見ているだけの人の意見では温度差が大分あると感じた。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
竹野振興局 地域振興課 電話 47-1111